

## 私たちの城東北部地区

「駅前お城通り」をはさんだ城東学区北部にある8町19自治会の地域で構成しています。

- ▲ 船町第1部・第2部・第3部
- ▲ 立花町
- ▲ 旭町第1部・第2部・第3部
- ▲ 京町三丁目第1部・第2部・第3部・第4部
- ▲ 元町
- ▲ ディオフェルティ彦根（古沢町）
- ▲ 大東町
- ▲ ネバーランド彦根（旭町）
- ▲ 佐和町第1部・第2部・第3部・第4部

## 数字で見る城東北部地区の“今”

《世帯数や高齢化率 等》

出典／彦根市（平成28年1月31日現在）

	船町	旭町	元町	大東町	佐和町	立花町
人数	301人	235人	90人	522人	387人	152人
世帯数	144世帯	122世帯	49世帯	263世帯	195世帯	66世帯
高齢化率(65歳以上)	34.6%	35.3%	52.2%	25.5%	29.7%	39.5%
高齢者のみの世帯数	22世帯	12世帯	12世帯	17世帯	17世帯	15世帯
1人暮らし高齢者数	22人	31人	13人	45人	33人	9人
75歳以上の人数	54人	49人	24人	58人	53人	29人

	京町三丁目	ディオフェルティ	ネバーランド	城東北部	城東学区	彦根市
人数	410人	192人	131人	2,420人	7,460人	112,818人
世帯数	171世帯	74世帯	49世帯	1,133世帯	3,505世帯	45,983世帯
高齢化率(65歳以上)	37.1%	17.2%	4.6%	30.3%	32.1%	23.3%
高齢者のみの世帯数	27世帯	8世帯	0世帯	130世帯	440世帯	4,724世帯
1人暮らし高齢者数	39人	9人	0人	201人	668人	5,741人
75歳以上の人数	95人	15人	0人	377人	1,334人	12,737人

「高齢者のみの世帯数」には「1人暮らし高齢者の世帯」は含まれません。

計画の期間

2016年度>>>2019年度

この計画は2016年度（平成28年度）から2019年度（平成31年度）の間で取り組むものです。

# 城東北部地区 住民福祉活動計画



この計画を作成するにあたり、福祉活動やまちづくりに携わる住民の方々にご参加いただき、学区内の課題や求められる取り組みなどについて話し合いを重ねてきました。「こんなまちになったらいいな」を「こんなまちにしていきたい、していこう」と、みなさんの声や思いをもとにつくりました。

これからの城東北部の福祉のまちづくりについて、住民みんなで考え取り組んでいくためのひとつの道しるべです。それぞれの地域で具体的な実践につながっていくことを願っています。

## 城東北部地区住民福祉活動計画

策定：城東北部地区住民福祉懇談会

編集・発行：社会福祉法人彦根市社会福祉協議会

〒522-0041 彦根市平田町670 彦根市福祉センター別館1階

【でんわ】(0749)22-2821 【ファックス】(0749)22-2841

【ホームページ】<http://www.hikone-shakyo.or.jp>



こちらからHPをご覧ください

# 笑顔のあいさつ！ 安心のまち 城東北部

彦根の表玄関、彦根駅西口から彦根城に向かう「駅前お城通り」を挟んだ町々。  
表通りから一步入ると、歴史を感じさせる落ち着いた佇まいの家並みが続いています。  
そして、ここに生きる一人ひとりの暮らしが静かに息づいています。  
このまちに暮らす2400人の思いや願いをつないで、歴史ある過去から現在、そして、  
希望にあふれる未来へと、城東北部の物語を紡いでいきましょう。



彦根駅2階から彦根城をのぞむ



地域の夏まつり  
子どもたちは地域の宝、みんなで育もう



## 地域のつながりを大切にするまち

同じ地域に暮らす住民同士、「お互いさん」という  
思いやりの心を育て、誰をもひとりぼっちにしない  
人と人がつながるまちをめざします。

- 地域への関心を高め、みんなと仲良くする心を持とう
- 「向こう三軒両隣」の意識で思いやりの輪を広げよう
- 災害時に支えを必要とする人たちを、日頃からそっと見守る意識を高めよう
- 回覧板は、気遣いのひと言を添えて手渡ししよう



## 人と人がいきいき交流できるまち

街角で顔を合わせたり、一緒に行事に参加したり、  
そんな日常の交流を大切に、互いを認めあい、心をかよわせるまちをめざします。

- 笑顔のあいさつから、地域の人と顔見知りになろう
- 誰もが気軽に集える居場所づくりをすすめよう
- みんなが参加したい地域行事を工夫し、人が集まり交流する場をつくろう
- 地域を支えるボランティア活動をこれからも続けていこう



## 子どもの笑顔を育むまち

子どもたち、若者たちの今を見守り、未来を応援し、このまちを想い、まちのこれからを考える若い力や夢を育むまちをめざします。

- 地域の子どもは地域のみんで、ほめて時には叱って見守ろう
- 安全パトロールや声かけで、子どもたちと互いに顔の見える「おっちゃん、おばちゃん」でいよう
- 地域の歴史や地元の人だからこそ知っていることを子どもたちに伝えていこう

